

調査の背景・目的

「リニア岐阜県駅周辺整備概略設計」 平成 28 年 3 月

駅に求められる機能や役割について具体化し、平面図、イメージ図及び概算費用を示した。その中で、にぎわい創出施設は以下の位置づけとなっている。

来訪者と地域住民が利用するにぎわい創出施設

- 来訪者の求める情報やサービスが十分に提供され、岐阜県をPRできる施設の整備
 - 地元の特産品や工芸品などの土産物を買うことができる施設の整備
 - リニア利用者だけでなく、在来線利用者などの地域住民も集う交流拠点の整備
- ※にぎわい創出施設をはじめ、各施設も含めた整備や管理・運営については、今後民間活力の導入も含めた可能性を検討していきます。

これを受け、にぎわい創出施設について駅周辺のにぎわいを創出する機能を十分に果たし、かつ、よりコストを低減した整備・運営が図られるよう、その整備内容及び民間事業者の活用を含む事業手法の可能性についての調査検討を行った。検討にあたっては、関係市町、観光協会及び民間事業者等へのアンケートを行うとともに、中津川市及び恵那市のほか、にぎわい創出施設を含む駅周辺での事業参画に関心のある民間事業者等にヒアリングを行い、事業に対する関心や意向等について基本調査を行った。

基本調査の内容・結果概要

基本調査の内容

関係市町・観光関係者	駅利用者	民間企業
◇主に観光に関する意識調査 (中津川市・恵那市のまちづくりも含めた意識調査)	◇にぎわい創出施設に求められる施設等のアイデア調査	◇整備内容及び民間事業者の活用を含む事業手法の意向調査
中津川市・恵那市 リニア関連及び観光等部局、観光協会 ヒアリング調査	美乃坂本駅、中津川駅、恵那駅を利用されている方を対象 アンケート(街頭インタビュー)調査	官民連携事業への参画実績がある全国企業及び、事業に関心のある地元企業を対象 アンケート調査 ↓ 関心のある企業に対して ヒアリング調査
県内市町村・長野県木曾地域町村 市町村観光部局及び観光関係者 アンケート調査		

アンケート及びヒアリング調査の結果概要

【関係市町・観光関係者】

- 中津川市及び恵那市からは、コンパクトな施設を求める意見がある。また、機能としては、観光案内施設・物販施設のほか、地域住民が利用するホール、会議室等、公共施設の必要性を示す意見があった。
- 県内及び長野県木曾地域の市町村や観光協会の多くは、にぎわい創出施設の利用やその機能に関心を示した。また、関係機関が連携して、岐阜県全域に加え長野県木曾地域をPRできる公共性の高い内容にすべきとの意見があった。

【駅利用者】

- 「カフェ」や「コンビニエンスストア」、「レストラン」などの商業施設の要望が多い。美乃坂本駅利用者からは、公共・行政サービスを提供する施設に対する要望も多い。
- ほぼすべての駅利用者(回答者の約95%)が、にぎわい創出施設の利用意向を持っている。

【民間企業】

- 全国企業からは、駅の立地環境、周辺の開発状況などを考慮すると、即座に進出に関心を示す企業は少なかったが、ホテル事業者など一部事業者からは、リニア岐阜県駅のポテンシャルに期待する発言が見られた。また、安定して多くの利用が見込める公共施設の整備が望まれている。
- 周辺人口の増加や、にぎわい創出施設の地域住民による利用、観光拠点としての位置づけなどが事業参画の可能性を高めるとの意見があった。
- 地元企業は、自らが開発主体になることに関心を示す企業はなかったが、一部の企業はテナントとして事業に参画することに関心を示した。ただし、基本調査時点においては、全体的にリニア岐阜県駅周辺整備に対する関心は低調であった。